



元気いっぱい虎舞を披露する「かまいしこども園」の園児

1月17日 【釜石市民ホールTETTO】

### 虎舞と餅つきで元気いっぱい かまいしこども園 新春まつり

かまいしこども園の新春まつりが開催され、虎舞の引き継ぎ式や餅つき会など、笑顔があふれる一日となりました。虎頭の引き継ぎでは、年長児が年中児へ「腰を低くして踊るとかっこいいよ」などとアドバイスしながら手渡しました。餅つき会では、年長児が育てたもち米を使用し「よいしょ！」の掛け声で思い切りきねを振り下ろし、元気よく餅をつきました。



渋谷釜石駅長（右）と小野市長（左）が手を挙げて出発の合図

1月19日 【JR釜石線】

### 釜石線に新しい風 人と環境に優しい新型車両が釜石線に登場

JR釜石線に新型ハイブリッド車両「HB-E220系」が導入され、列車の出発式が行われました。約30年ぶりに導入された新型車両は、環境負荷を抑えつつ、車いすやベビーカーにも対応しており、誰でも快適に利用できます。地域の欠かせない移動手段として通勤・通学だけでなく観光利用も期待され、住民や鉄道ファンが新たな車両の旅立ちを祝い、歓声を上げて見送りました。



唐丹の海をバックに記念撮影

1月25日 【唐丹町】

### 海×自然×食で歩いて楽しむ うにしゃぶ体験トレイル

唐丹町を巡るみちのく潮風トレイルのグルメウオークが開催されました。参加者は、ガイドの案内を受けながら片岸から本郷を巡る約6キロを歩き、釜石の歴史や津波の記憶に触れました。唐丹産の生ワカメが具材に入った「うにしゃぶ」が提供され、参加者は初めての味わいを楽しみ、地元の食にも理解を深めました。歩くことを通して、地域の魅力を再発見する一日となりました。



ライトレースカー&ラジコンカーを走行させる高校生

1月30日 【釜石商工高校】

### 高校生が伝える学び プログラミング出前授業

釜石商工3年電気電子科の生徒が講師となり、双葉小6年生を対象にプログラミングの出前授業を行いました。授業ではマイクロビットを使い、LEDの点灯やセンサーの操作などに挑戦しました。高校生らが丁寧にサポートする中、楽しみながら学びを深めた菊池宗真さんは「普段使わないプログラミングを高校生の皆さんに教えてもらいながら体験できて楽しかったです」とはにかみました。

1月10日 【小佐野コミュニティ会館】

### 音楽の力で笑顔広がる 会場を包んだ歌声と音色

いきいき小佐野コンサートが開かれ、住民ら約40人が声楽家らの美しい歌声と演奏に耳を傾けました。声楽家の谷地畝晶子さんとピアノ奏者の阿部夕季恵さんが約10曲を披露し、住民らは口ずさんだり、手拍子をして楽しみました。一緒に舞台に立った釜石高校音楽部の八幡陽椰子さんは「思ったより人が多くて驚いたが、練習よりいいハーモニーを響かせられた」と手応えを感じました。



谷地畝さんと声を合わせた釜石高校音楽部

1月10日 【松倉地区コミュニティ消防センター】

### 願いを込めて飾りつけ 松倉町内会「みずき団子祭り」

松倉町内会のみずき団子祭りでは、子どもから高齢者まで約40人が交流を深め、伝統文化を次世代へ伝える機会となりました。参加者は、4色の団子の他にもミカンや菓子袋、願い事や目標を書いた短冊を飾り付けしました。甲子小5年の野田紗也佳さんは短冊に「勉強で頑張りたいことを書いた。苦手な算数を克服して得意になりたい」と今年の目標を掲げました。



4色の団子をミズキの枝に飾り付ける子どもたち

1月10日-11日 【シープラザ釜石周辺】

### 冬遊びを満喫！ 寒さに負けず心も体もホットな2日間

かまいし冬あそびがシープラザ釜石周辺で開かれ、多くの家族連れでにぎわいました。

当日は、シープラザ西側駐車場でのかまくらと雪の滑り台や、電動カートなどを楽しめる乗り物広場、シープラザ内での木製おもちゃに親しめる「出張おもちゃ美術館」の他、バルーンアートやラーメンの早食い競争、虎舞の披露など、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

特に大人気で列をなしていたのが雪あそび。そこで使われた雪は友好都市である秋田県横手市から運ばれたもので、子どもたちは何度も並び、普段はなかなかできない雪あそびを楽しんでいました。

市内外のグルメを味わえるキッチンカーが並んだ他、サン・フィッシュ釜石では地酒や浜焼きなどが味わえるかまいし屋台村も同時開催され、心も体も温まる2日間となりました。



1\_そり滑りに夢中になる子ども 2\_あったかグルメを味わう来場客 3\_電動の乗り物を走らせて笑顔を見せる子ども 4\_アツアツの豚汁のお振る舞い 5\_出張おもちゃ美術館の木製おもちゃで遊ぶ子ども